

文教福祉常任委員会意見交換会報告

令和2年10月23日（金）

去る10月14日開催の白山市公民館連合会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は、白山市公民館連合会の山口会長を初め、役員の方、合わせて11名の出席をいただきました。

今回は、「コロナ禍での公民館の現状と今後、期待されるもの」をテーマとして、意見交換を行いました。その主な内容と意見について述べさせていただきます。

初めに、公民館の施設整備についてであります。

市内公民館については順次、改築が行われているが、昭和50年代に建てられた公民館が多くあり、引き続き支援をお願いしたいという意見がありました。施設の改修・修繕について、水回りや外壁、空調設

備等の傷みが激しい箇所の修繕・改修をお願いしたいとの意見がありました。また、バリアフリー化については、和式トイレの洋式化と面積の拡張、廊下や段差があるところへの手すり等の設置が必要との意見がありました。

委員からは、コロナ禍ではオンラインで交流する取組もあり、W i - F i 等の新たな施設整備も取り入れて要望してはどうかと提案がありました。

次に、職員の待遇改善についてであります。

これまで2年に1回の昇給が毎年となり、職員は大変喜んでいるが、勤続20年で昇給停止となっており、上限が少しでも引き上げられれば勤労意欲の向上にもつながるとのことでした。また、夜や休日等に仕事をすることが多く、振替休日が十分取れないことから、年間60時間の時間外手当の上限を引き上げられないか要望していききたいとの説明がありました。

次に、公民館の避難所としての機能についてであります。

電気がなくても使えるトイレ、発電機など災害時の避難所としての整備や、市職員、公民館職員の役割、運営体制についても具体的に話し合っていく必要があるのではとの意見がありました。

委員からは、公民館職員を含めた防災の組織体制ができていないのが現状で、災害時は地域の広範囲な課題を早急に判断していかないといけない。市の窓口を研究する必要があるのではという意見がありました。

次に、公用車についてであります。

社会教育バスの整備等について、今年1台新しくなったとのことですが、休日に使用する要望が28公民館から上がってくると追いつかない状況とのことでした。また、コロナ禍では定員の半分しか乗せられないこともあり、バスの整備、追加について引き続きお願いしたいとのことでした。

委員からは、ウィズコロナ時代には民間のバスの借り上げも含めて、各公民館の事業が活発に出来るように教育委員会として

も配慮いただきたいという意見がありました。

最後に、地域コミュニティ化について、現在6つのモデル地区がスタートしたが、それぞれやり方に差があり、市が最終的にどこにもっていこうとしているのか、主事、事務員の働き方や、館長はどうすればいいのか本当に難しいと話されていました。

委員からは、市の役割としてきちんと検証して次の判断につなげていかななくてはならないと意見がありました。

以上、主な意見を述べましたが、ほかにも活動上の悩みや地域づくりの提案など、多くの意見をいただきました。

今後、地域の資源を有効に活用し、また既存の公民館の枠組みにとらわれることなく、運営方法や仕組み等をしっかりと検証する必要があると感じました。

以上で意見交換会の報告を終わります。